広報ごじょうめ
令和2年5月1日発行(毎月1日発行)No.1030 編集・発行／五城目町役場まちづくり課 〒018-1792 秋田県南秋田郡五城目町西磯ノ目1丁目1番地1 ☎018(852)5342 FAX018(852)3151 印刷／湖東印刷所

『わらしだ』とは五城目弁で、『子どもたち』の意味です

なつかしのごじょうめのわらしだ

作：大石清美　No.290

祭 村のまとりの日には

あぎゃままくばり

●朝まに立かした、あぎゃまま（赤飯）を じゃっこ（塩鮭）こちめ、そえをだが 自の親せきさ「今日、オラ祭りだっ」がと、えまに見に来てくだんしえ」とおしゃべりしまわった。この時、「ありがとう、どもな。こちゃんしかだども 駄賃っこだ」と言って50円ほどもらえるのを、たのしみで即 まで長靴 重をふんで 届けに 行った。

とりっこを絞める

●祭りを来てけだお客さんを出す ごちそうの「だまっこ鍋」及びの料理に加がさえねゃもが鶏肉を、その鶏を絞めるしゴガラの役目をおった。

毎日、エサがしょをあんけがってあった鶏っこを 庭の工手まで 連れえって 自分の手で絞めて 羽根をむしるときは、あもがもかわいそうをおったども 仕方ねゃ じゃらめだ。

弟たちは、むしった羽根の大きいのを、イエ ガ、おそび 在して たのしそうだった。

鶏を丸ばく

丸裸になった鶏を 桶の上から 乗して 熱湯で 全部 毛ごと 切り刻 ろ。日、お父の仕事だ。内臓の中さオレンジ色の卵が入ってる時は うれしかった。頭と足以外は全部 利用 した。

どんがら叩き

●鶏のガラは 鍋料理とは 見分さえねゃ ガラを 大きな丸太の 輪切り（どんこ）の上さ あげて、ナタで、まだ ガいしゃ ガラを ミジ子にしたじを 手で丸めて 鍋さ 入れだ。

まとりの お客さんが 残ったあと 残していった 鍋の だまっこもちゃ どんがらを 食うとも オラたちの まとりの たのしみで あった。

おくやみ申し上げます

□□□□さん	89歳	3月 3日	西磯ノ目
□□□□さん	51歳	3月 5日	矢場崎
□□□□さん	92歳	3月12日	帝釈寺
□□□□□さん	76歳	3月16日	古川町
□□□□さん	91歳	3月18日	浅見内2区
□□□□さん	96歳	3月21日	西野
□□□□さん	95歳	3月24日	西野
□□□□さん	77歳	3月28日	岡本二区
□□□□□さん	106歳	3月29日	広青苑
□□□□さん	84歳	3月29日	畑町

※「おくやみ・おたんじょうびコーナー」への掲載を希望しない方は、届け出の際にお知らせください。

おたんじょうおめでとうございます

はじめまして
□□ □□ です
よろしくネ！

「産まれてきてくれてありがとう。すくすく元気に育ってね!」
パパ・ママから

□□□□くん　3月1日　□□・□□　富田

編集後記

産 今月号の表紙を飾ったのは、五城目小学校の新1年生です。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全員が常時マスク着用という式でしたが、今のこの状況に打ち勝つような元気いっぱいな姿が印象的でした。（藤田倫治）

大 大石清美さんから「アマビエ」と「尼彦入道」の絵札をいただきました。新型ウイルスの終息を願って、GWは絵札を張り、外出を控えようと思います。（柏 和順）

町の人口と世帯（令和２年３月末現在）

		前月比	昨年比
人口	8,937人	（－63）	（－251）
（男）	4,184人	（－32）	（－108）
（女）	4,753人	（－31）	（－143）
世帯	3,961世帯	（－15）	（－ 64）

3月中の
転入者数
32人
転出者数
81人

印刷には環境にやさしい大豆油型インキを使用しています。